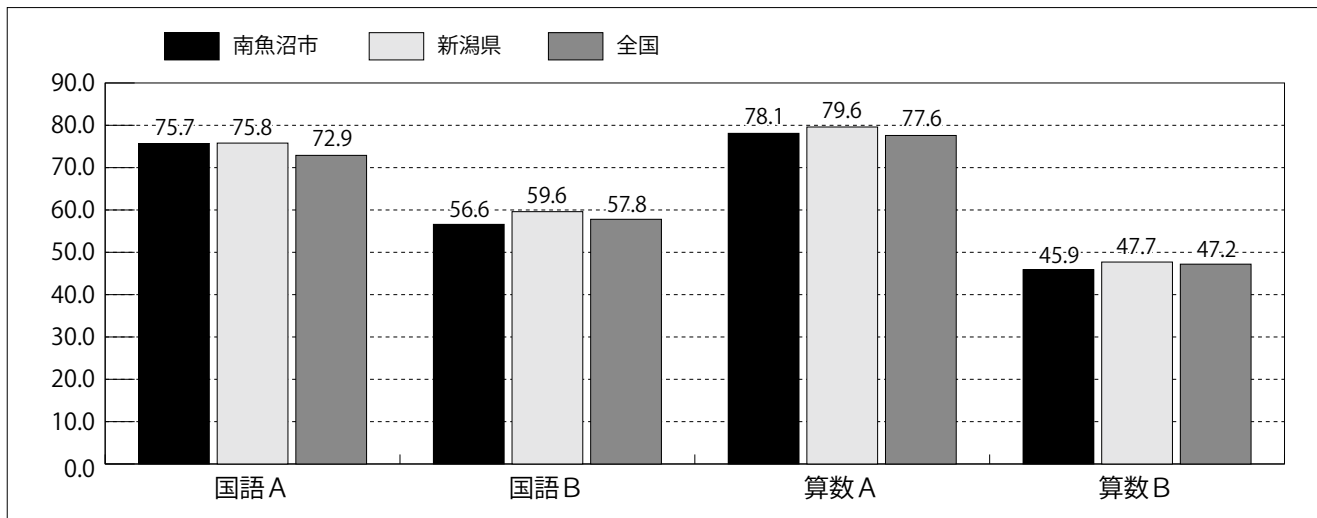


4月19日(火)に実施された全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。今年度は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に国語・算数(数学)の2教科が実施されました。9月に発表された結果を全国平均・県平均と比較しました。

1 正答率の比較 (A問題：知識や基本的事項の理解度を調べる問題、B問題：活用力・応用力を調べる問題)

小学校6年生の平均結果



国語

昨年度はA問題、B問題ともに、新潟県と全国の平均正答率を下回りましたが、A問題については全国平均正答率を上回りました。B問題については、昨年度に比べてその差を縮めました。

【課題】「よりよい表現の仕方を工夫する力」「事柄を整理して書く力」を育てるための指導に工夫が必要

算数

A問題は、4年連続で全国の平均正答率を上回りました。B問題は、昨年度よりもさらに改善傾向がみられ、その差を縮めました。

【課題】「小数の計算力」「日常生活の事象や活動を、図・表や式と関連付けて理解する力」「図と式を関連付けて式の意味を説明する力」を育てるための指導に工夫が必要

中学校3年生の平均結果

